

「わたしと娘」

第12回名取洋之助 写真賞奨励賞受賞 出版記念トークイベント

写真で振り返る当時のわたし

5年間の撮影枚数5万枚。なぜ作者はカメラを向け続けたのか？ 当時の心境を写真を一枚ずつ振り返りながら語る。また、夜の部では更に、専門分野である心理学や医療福祉への期待についても語る。

日時：8月18日(土)

会場：横浜市開港記念会館1号室

横浜市中区本町1丁目6 同館事務室電話：045-201-0708

昼の部：14:30-16:00

会費：予約割引価格500円。当日参加800円。

対象：難病児を育てる親・障害児を育てる親・またこれら親子へのケアに関心のある医療福祉・教育・行政・一般の方。

夜の部：18:00-19:30

会費：予約割引価格(ワンドリンク付き)2000円
(ワンドリンク・写真集付き)4000円

当日参加はそれぞれ300円増し。

昼の部参加者は夜の部の予約・当日参加料金から500円引。

対象：医療・福祉・行政・NPO等、障害者の医療に関心の高い専門職向け。一般の方もOKです。



予約はこちらから

<https://www.wadamei.com/event>

予約割引がお得です。

HPからの予約ができない方は、お問い合わせください。

連絡先：mail: nimokaka@wadamei.com / phone: 090-5530-2393



講演者略歴

わだ・めい / 1983年横浜生まれ。埼玉県飯能市在住の写真家。日本写真家協会会員。医科学修士号。がん専門の心理士として大学病院勤務経験がある。

写真集のベースとなった『娘(病)とともに生きていく』は、2016年第12回名取洋之助写真賞奨励賞受賞。テレビや新聞などで多数紹介されている。2018年2月28日朝日新聞「ひと」欄にも掲載された。



第12回
名取洋之助写真賞
奨励賞受賞
初の写真集
元心理カウンセラーが
写真で描く、
難病の娘を持った
親の心

それでも
人生に
イエスと言う

Amazonで絶賛発売中

【写真集の内容】

順風満帆な人生を送っていたある日、生後9ヶ月の娘が先天性の難病「結節性硬化症※」であることが分かった。現代の医療では根治不可の病。娘の治療のために仕事を志半ばで退職。全く想定していなかった出来事の連続に、人生ががらりと音を立てて崩れ去り、翌月の暮らしも想像できない日々を送っていた。「今、目の前にあるものが明日には全て失われるかもしれない」と思うと、カメラを手放すことができなかった。受け止め難い現実をファインダー越しに見ることで、私はそれと一定の距離を保つことができていたのだと思う。これはその始まりの5年間、人生のどん底から這い上がり始めるまでの記録である。

※結節性硬化症は遺伝性の疾患で、主に脳、目、心臓、腎臓、皮膚、肺といったさまざまな臓器に良性の腫瘍ができるという特徴がある。

主催：慧眼株式会社

共催：NPO法人横浜コミュニティデザイン・ラボ

広報協力：ニモカクラブ